

* 3回の公園ワークショップ（最終回）を終えました。次の段階に進みます！

ワークショップの趣旨

登戸土地区画整理事業で新たに整備する3つの街区公園の基本計画の策定に向けて、地域特性や地域住民のニーズを踏まえて、市民との協働・協創による公園計画づくりのためのワークショップを開催しました。



ワークショップの流れ

第1回
ワークショップ

令和2年10月17日(土)

『あなたは公園でどのような時間を過ごしたいですか』

3つの公園の使い方、欲しい公園を議論しました

第2回
ワークショップ

令和2年12月5日(土)

『あなたは公園の中にどんな空間をつくりたいですか』

空間の構成や空間づくりを検討し、空間のイメージを創り上げました

第3回
ワークショップ

令和3年3月27日(土)

『あなたは公園が地域の中でどのような存在であってほしいですか』

説明会

基本計画策定

今後の事業スケジュールに合わせ、管理運営を担っていただく地域の方々を中心に意見交換し、設計を進めていきます。

第3回の目的と内容

- ① 3つの公園の連携について考えよう
- ② 公園の大事にしたいポイントをもう一度整理しよう
- ③ 管理運営について話し合おう

グループワーク

- 1 みんなの意見をまとめたレイアウトイメージについて
- 2 公園のルールや管理など課題解決に向けて



全体発表の様子

グループワーク 2

こんなことをやりました

自分が管理運営協議会のメンバーになったとして、3~4人毎のグループに分かれ、『公園で実現したいこと』『実現するための課題』『解決するにはどんなことをしたらよいか』等話し合いました。



子どもたちが安全にボール遊びができる場があるといいよ



緑はたくさん欲しいけど、管理が必要だね



若い世代にも愛着をもってもらう工夫が必要だよ



企業や大学などの住んでいない人も巻き込んで管理できるといいね



特徴的な遊具がほしいな



みんなを巻き込んで公園を育てていけるといいね



きれいな公園を維持したい
解決策は..

- ゴミの管理や人手について、掃除キャラバンなどのイベントを開催し色々な方の参加の促進
- 用具入れを設置し、気軽に掃除や公園の管理が出来るようにする
- 移動式花壇やシェア（レンタル）花壇などを導入
- 回覧板や掲示板などでイベントや催しの情報共有

理想の公園づくり
「みんなの広場」「地域の庭」
解決策は..

- いろいろな人や企業を巻き込む
- 多くの人に知ってもらえるような情報発信
- チームづくり
- 魅力的な計画・名前を掲げる
- 『管理運営協議会』をみんなが参加したくなるような楽しい名前、かっこいい名前にしてはどうか。

皆でルールを守りたい
解決策は..

- あめとむちの考え方
<あめ> : コミュニケーション
- 公園を使ったイベント（芋煮会や学生を呼ぶなど）
 - 近隣・保育園の協力（お父さんたちのゴミ拾いなど）
 - 寄付・基金
- <むち>
- 罰金制度（例えばタバコ捨てたら1万円）

グループワーク 1

*このレイアウトイメージは、ワークショップでみなさんからの意見をもとに作成したイメージ図です

レイアウトイメージをたたき台に、**大事にしたいポイント**を確認しました

* 1号街区公園 ***

緑豊かなみんなの公園

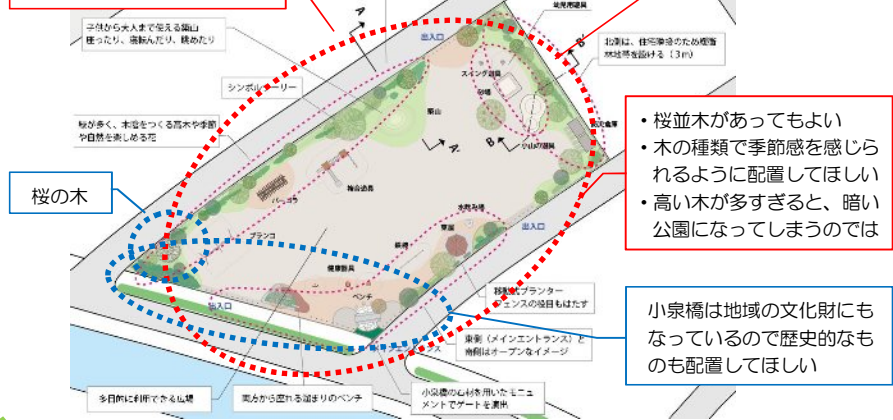
● 大事にしたいポイント

- 自然を感じられる — 季節を感じられる樹木や草地などの緑を配置
- 安心して子供が遊べる — 幼児用遊具ゾーンを配置
- 多世代が利用できる — 遊具以外にも多目的に利用できる広場や、健康器具、歴史モニュメントの配置
- 持続可能な管理運営 — ポール遊びなど地域も利用者が安心のルール作り



● レイアウトイメージ

実際のスケール感やバランスが分かるようにしてほしい



第3回アンケートの主な感想など

- 公園についての関心・興味が深まり、よりよい地域のコミュニティの集いの場づくり、笑顔の広場づくりの実現をすごく感じた。
- 日ごろ交流のない近所の人顔と名前を知ることが出来、また高齢者から若者までいろいろな意見を聞くことが出来た。
- 公園管理についての現実を知ることが出来た。
- 町会の人と公園について話し合うことが出来るようになった、WSを通じて公園が好きになった。
- 公園を利用する一住民ではなく、公園だけでなく地域のことに関わっていこうと思えた。町の成長が他人ごとではない感覚を味わうことができた。
- どんな公園になるのか経過を定期的に知りたい。

** コンセプトや大事にしたいポイントをもとに、

今後のレイアウト検討を進めて参ります **

ワークショップ開催報告<https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000128039.html>
川崎市まちづくり局 登戸区画整理事務所 044-933-8581 (工事担当)



* 2号街区公園 ***

みんなの木陰

(～地域の特徴を活かした多世代の笑顔あふれる公園～)

● 大事にしたいポイント

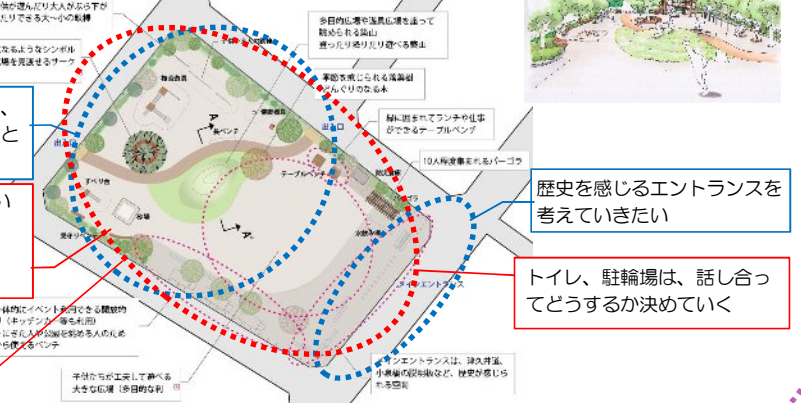
- 若者をはじめ、子どもからお年寄りまで多様に使える — 多様な利活用ができる大きな広場を配置
- 木陰でくつろげる — シンボルツリーや季節を感じさせる樹木など豊かな緑、サークルベンチ、パーゴラを設置
- 安心して子供が遊べる — 大人が見守れるような幼児用遊具ゾーンを配置
- 地域の特徴を活かす — 津久井道や小泉橋など地域の歴史を感じる

● レイアウトイメージ

子供を見守れる遊具ゾーンとして、遊具やベンチ、木陰を配置することが良い

● 夢のある公園をみんなで考えていきたい
● 次の世代につなげられる公園であってほしい

● 子どもが工夫で遊べる遊具があるといい
● 特徴的な遊具があるといい



* 3号街区公園 ***

登戸の顔となる公園をみんなで育てよう

● 大事にしたいポイント

- 多世代から愛され人が集まる登戸の顔 — 遊具以外にも多様な利活用ができる広場を駅側に大きく確保し、緑やベンチ等を配置
- 安心して子供が遊べる — 幼児用遊具ゾーンを配置
- 持続可能な管理運営 — 多様な主体が活用できると同時に、担い手に広がる仕組みづくり

● レイアウトイメージ

登戸の顔となる公園として、エントランスの作りにこだわり、みんなの印象に残るようにしたい

● 子供たちが安心して遊べる場所が良い
● 飛び出し防止を考慮したい

親しまれる個性が公園にあると、みんなが守りたい、きれいに保ちたいと思うような場所になり、結果的に地域に還元される

